



たちばな

川崎市立橋高等学校同窓会
会報「たちばな」第19号
令和4年12月1日 発行
〒211-0012
川崎市中原区中丸子562
FAX 044-422-7412
web tachibana-hs.net

駅伝男子・県大会初優勝！ 女子に続き、全国大会・都大路へ！



11月3日の県高校駅伝
競争大会にて初優勝！
2020年の女子に続き、
全国大会に出場！！

コロナ禍からウイズコロナへ



同窓会長
牧野重夫

皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、コロナ禍、影響を受けている皆様にはお見舞い申し上げます。

令和3年度卒業生74期、元七名のお仲間を迎え、二万五千名近い会員数となり各方面で多岐にわたり活躍しています。

令和3年度、国際科・スポーツ科が創設20周年を迎えました。12月の式典には参加出来ませんでしたが、記念のクリアファイルを贊助いたしました。

令和4年、4年は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、学校行事、部活動等が中止、延期、変更を余儀なくされ、同窓会活動もいろいろと制限を受けました。代議員会は令和2年、3年度が書面(郵送)にて、4年度は書面と対面で開催をいたし、懇親会も実施せず、皆様方とお会いできなかった事を残念に思っております。

ウイズコロナ。新しい社会生活に対応できるよう、代議員会のあり方、母校支援の方法・内容等の同窓会活動を模索・検討して参ります。同窓会は令和5年、設立70周年を迎えます。皆様とともに本同窓会をますます発展させて参りたいと存じます。会報やホームページへの寄稿(事務局宛)もよろしくお願いたします。

会報「たちばな」19号は、諸般の事情で1年発行が遅れましたがお届けすることが出来ました。ホームページと合わせてご覧下さい。また、ご意見、ご要望等をお寄せいただければ幸いです。

さて母校は、全制の部活動では33年間、全国大会はバレーボール部、陸上部、ソフトテニス部が活躍。伝統の吹奏楽部は東関東大会に連続出場し実力を発揮しています。定時制は陸上部、卓球部、バドミントン部、バレーボール部が全国出場し活躍しました。特に令和2年には全日制陸上部が女子駅伝にて全国大会(京都西京極)に初出場し、21位の快挙でした。

同窓生では令和3年の東京五輪でバレーボール島村春世さん(62期)、サッカー三笠さん(68期)が大活躍。※島村さんは世界選手権(10月)、三笠さんはワールドカップ(11月)にも出場しています。

生徒はもとより、学校、父母が一丸となって母校発展のため協力したおかげで、文武両道、進学高としても名実ともに素晴らしい学校になっています。これからも学校行事との連携、協力を推進し同窓会活動を充実して参ります。

また、皆様方からの会費は会報の発行や母校後援等、同窓会活動の運営にかかせないものです。会費納入にご協力いただきませう。よろしくお願いたします。

新型コロナウイルス感染症の収束はまだまた不透明で、感染力が強い変異ウイルスの感染があるかもしれません。健康には充分留意してお過ごしいただければ幸いです。皆様のお祈りをありがとうございます。

今後とも同窓会への支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申あげます。

八十年の伝統と生徒の安全を守り、 更なる飛躍に向けて



川崎市立橋高等学校
校長
同窓会名誉顧問
高井健次

橋高等学校同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご支援とご指導を賜り、心よの御礼を申し上げます。
とりわけ今年度におきましては、創立80周年を迎える至念な節目の年でもあり、同窓会の皆様のごこれまでの母校愛無くしては、このように歴史と伝統を紡ぐことはできなかったものと、改めて皆様の橋高等学校への熱い思いに感謝をいたしております。

本来であれば、この大きな節目の年においては、記念の行事や祝賀会を盛大に開催し、日頃の感謝をお伝えするつもりにも、同窓会の皆様の親の場を設けさせて頂くつもりではございません。しかしながら、近年の新型コロナウイルス感染症防止対策の観点から、大変心苦しいところではございますが、学校としての記念行事については肩合わせをさせて頂きました。生徒会

行事も縮小、制限をする中で実施しており、登校時間も時差通学を継続し、生徒の安全を確保する状況の中でございますので、何卒、ご理解を頂きますようお願い申し上げます。
さて、「コロナ禍の中であつても、生徒は自ら考え、行動し、教員も精一杯の指導と支援を行い、橋高校の伝統を守り続けています。体質面では感染防止を図りながらの応援合戦の本格再開、文化祭では飲食物の取り扱いを禁止した中での豊かな発想でのクラス企画や文化部発表等、久しぶりの行事活動の再開ではありましたが、生徒たちは橋高校生らしく、お互いを思いやりながら、はじける笑顔がめいっばい楽しんでいます。

また、定時制におきましては、入学者が減少する傾向にございますが、少人数の授業で、きめ細かく生徒への指導と支援を行うことができていると、生徒会でもお喜びしております。
不透明で困難な時代ではあります。同窓会からの橋高等学校への変わらぬご支援をお願いいたします。

現在の定時制は勤労学生ではなく、中学校時代での不登校経験や人間関係を構築することに困難を伴った生徒が多い傾向が見られ、ゆとりと学びの指導とともに、生活や健康に関する支援をおこなうよう、学校外の機関との連携による支援体制の構築に重点を置いていきます。
現在は、時代や環境の変化が目まぐるしく、落着いて学業や部活動に取り組みむことができない日常ではあります。南武線から見える噴水、旧図書館周りの緑の美しさ、校内で行った花見等思い出すたびに懐かしく温かい気持ちになります。
特に、校長として勤めた3年間は、思い出深いものになっていきます。行事や試合で頑張る生徒を応援することは無上の幸せであり、橋高校の校長の特権でした。もちろん苦しいことも多く、令和2年から始まったコロナ禍での学校経営は、忘れえぬものになっています。なかでも、多くの生徒が青春を燃やし目指していたインターハイや定通大会・各種コンクールの悔し涙やその気持ちをどのようの引き裂かれるような思いでした。そのような苦しい中でも、感染防止に知恵を絞って実施された橋花祭や、全国でも最も早く実施した沖繩修学旅行は、コロナに負けない橋高魂を示したものであると記憶に残っています。

橋高校での教員生活は、文武両道に全力を発揮する生徒を、私の誇りとすることができた素晴らしい日々でした。今後も私の第二の母校として橋高校の応援を続けていくつもりです。
同窓会会員の皆様には変わらぬ厚誼とご支援をお願いし、同窓会の発展を祈念しつつ、退任の挨拶に代えさせていただきます。

- 川崎化学子(理科) 富樫昌晃(英語) 大野勝弘(社会) 鈴木純子(数学) 長谷川剛士(音楽) 永井真実(国語)



川崎市立橋高等学校
前校長
同窓会特別顧問
吉田 宏

- 田代洋平(保健体育) 山本義弘(保健体育) 角田裕一(英語) 都築健一郎(英語) 兼山貴之(国語) 大窪光夫(社会) 伏見昌子(英語) 石田智佳(保健体育) 伊藤和美(理科) 児玉貴介(数学) 玉村優菜(理科) 佐藤辰徳(社会) 鈴木稜典(理科) 豊田麻衣(家庭) 冨塚博志(数学) 谷口翼(社会) 布目大(社会) 張あかり(英語) 米倉雅美(理科) 佐藤登紀子(英語) 外山瑞穂(英語) 松村展弘(保健体育) 井関大悟(保健体育) 川瀬佑知子(書道) 菅澤美統子(国語) 田中健次(保健体育) 吉村直子(養護) 角田佳衣(理科) 野口真理子(養護) 大石淳史(保健体育) 武富祐二(保健体育) 米山三四郎(英語) 植村利英子(英語) 荒井昭浩(数学) 小泉拓也(社会)

- 渡辺賢次郎(美術) 石井和希(保健体育) 於保啓太(数学) 森谷周平(情報) 竹尾翔(国語) 和田萌(英語) 荒木優花(国語) 福田茂(社会) リケ千春(英語) 祖父江仁成(家庭) 小久保仁美(国語) 樋口優子(情報)

母校教員紹介

- 校長 高井健次
副校長 大川一幸
教頭(全) 鶴慶彦
教頭(定) 田村正二
全副
塚野剛史(数学)
山田正三(国語)
竹花奈津季(理科)

- 高田忍(英語) 杉山美佳(保健体育) 島貴敬太(理科) 首藤隆志(保健体育) 武石亜理(国語) 竹内沙也加(社会) 田中弘行(理科) 中島克己(社会) 林勇吾(国語) 藤生昇(数学) 松原謙二(国語) 松本博臣(保健体育) 宮原彩花(理科) 斎藤哲哉(数学) 高橋肇(数学) 小池久夫(家庭) 長島滋夫(英語) 永井優希(養護) 出浦英二(管理委託)

同期会・OB会



三十期 同窓会

2019年11月3日

武蔵小杉「精養軒」で、高校30期生の還暦同窓会が104名集い開催されました。

開会の挨拶は4組山田さん、亡くなった恩師や同窓生を偲んで司会の7組松岡さんに合わせ、黙祷を捧げ、その後乾杯発声より組河野さんが行い、歓談に花を咲かせました。

正午から16時まで、会場を移動せず椅子でゆったり過ごし、プロジェクターの映像や、懐メロを合唱、応援団による橋校節も披露され、昔を懐かしんで大いに盛り上がりました。

閉会の挨拶にて各代表の2組岡野さんから年後の同窓会開催を宣言し、最後に三本締めで次回も元気で再会することを誓い合いました。

岡野代表と学年幹事、何より参加して頂いている皆様あつての会なので重ねて皆様にも感謝申し上げます。(荒井久雄)

部活OB会

野球部 OB会

母校野球部は、一九四七年創部され本年度で75年目を迎えました。

野球部の最高成績は春ベスト4 (二〇二五年)、夏ベスト8 (一九七九年)、秋ベスト16 (二〇〇三年・二〇二五年)、近年は二〇二五年春季大会でベスト4に進出(夏



の大会第1シード獲得)をはじめ、二〇一八年の第一〇〇回大会でもベスト16に進出(北神奈川大会)するなど、制約のある環境の中で神奈川県内で安定した成績を納めています。

また、卒業後も大学で継続する選手もおり、卒業生が幅広い分野で活躍しています。



ます。野球部OB会、OB・OGとの親睦を目的に、現役生の支援や大会での応援などを中心に活動を行っていきます。

毎年7月の第一土曜日に川崎日航ホテルで野球部OB会を実施し各世代のOB・OGが集まり、現役生への激励をはじめ、当時の思い出話や野球談議で毎年盛り上がり、世代を超えて交流を深めています。

残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大のため、二〇一九年(写真)を最後にOB会は自粛と

原稿募集!

同期会・クラス会・部活OB会・OG会などを開催した際は、是非同窓会まで原稿・お写真をご提供ください。

懐かしい級友、部活仲間、仲良しグループ、先輩後輩、少人数、大人数、なんでも結構です。

会報は卒業生全員に送付いたしますので、ご覧になった方たちから思わぬ連絡が飛び込むことがあるかも。

また、同期会開催の事前呼びかけ等もご連絡ください。

※幹事様には各クラス等の住所録を事務局までお届けください。名簿・住所は、同窓会からのお知らせ以外には使用しません。会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

ご連絡は同窓会事務局まで。

info@tachibana-hs.net

メッセージ

高校24期 田崎雅博さん
みんな元気か〜!?
覚える奴は連絡ください!
待ってるよ〜!

1972年(昭和47年)3月卒業

田崎 雅博

〒186-0005

東京都国立市西2-26-64

Tel 090-8963-9738

systemcr@neo.famille.ne.jp

残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大のため、二〇一九年(写真)

謝申し上げます。(高校30期 米川恭生)

スポーツ科・国際科

二十周年によせて

川崎市立橋高等学校校長 高井健次

平成13年(2001年)4月に二期生の入学を迎えた本校の専門学科国際科・スポーツ科は、令和2年度に20回目の入学生を迎えるに至りました。

橋高等学校の長い歴史の中で、これまでの普通科に加え、新たに求められる学びの形に際するともに、未来に向けた人間つくりに寄与するため、国際科とスポーツ科の二つの専門学科が開設され、令和3年度には大きな節目となる20周年を迎えることとなりました。

開設の準備にご尽力を頂いた川崎中教員委員会事務局並びに地域の皆様、当時の教職員の皆様改めて感謝を申し上げますとともに、その先見の明と革新的な取組に敬意を表します。

また、この間において、国際科におけるオースト

リア海外研修やグローバル意識の醸成に向けた諸活動、スポーツ科のスキーやスキー等の校外実習の実施と輝かしい運動部の活躍など、専門学科の教育内容の研究と充実、教育活動の実践と推進にご尽力を頂いた全ての皆様にも改めて感謝を申し上げます。

本来であれば、関係者の皆様もお招きし20周年の活動の成果と記録を生徒からの学習報告として発表できることを望んでおりましたが、新型コロナウイルス感染症防止への配慮から、校内での生徒発表のみといたしました。

大変、残念なことではありますが、ウイリスとの戦いを経験したことを歴史のページとして記念誌に残し、制限の多いこの時代の中でも、できることを精一杯取り組むことの大切さを学び、

そして私たち大人へ、その大切さを教えてくれた頼もしい生徒たちの姿を後世に残していくことも大切な役割であるとも認識しております。

さて、学校といたしましては、この20年間の振り返りをするだけでなく、節目の20周年を起点として次の20年間を想定し、グラントデザイン、アクションプランを作成することが必要であると考えています。

20年前に専門学科に携わった方々が、今の橋高等学校をどうご覧になり、どのような感じなのか、描いていたビジョンと照らし合わせてどのように評価されるのかも伺いながら、これからの橋高等学校のさらなる飛躍を目指すして、未来の姿を描くことが大切であると捉えております。

専門学科開設の頃にはなかったSDGs、Society 5.0、ダイバーシティ、教員の働き方改革など、新たな社会、世界を構成する概念やツールが目まぐるしく入れ替わっています。

本校では、生徒が持続可能な社会づくりに向け、主体的に参画する姿勢を身に着ける教育活動を展開していることから、持続発展教育に取り組み学校が登録を認められるユネスコスクールへの登録を申請しております。

今年度には、これまでの教育活動が評価され、登録候補校へとステップアップいたしました。今後も活動を継続することで、いよいよ本登録される日が近づいてまいりました。

合わせて、令和4年度からは、高等学校において新しい学習指導要領が年次進んで実施されます。学校は、これまでの育てたい生徒像や身につけたい資質、能力を示すだけではなく、生徒自身が「何が得意なようになっただか」を自認し、その力を活用することで

主体的に社会参画していく姿勢を育成することが求められています。今後の国際科とスポーツ科においては、これまでの学科の成果と特徴を活かしながらも、予測不可能と言われる新しい時代に向けて、他者と寛容に関わりを持ち続け、新

たな社会、世界への変化に迅速に順応できる生徒を育成する、持続可能な専門学科であることが必要です。その為にも、今後も先達の皆様からのご助言を頂きながら、より一層の専門教育の研究推進に努めてまいりたいと存じます。

最後になりましたが、同窓会の皆様をはじめ、地域や関係機関の皆様からのご支援に改めてお礼を申し上げます。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

全日制部活動

陸上競技部

チームテーマ「写る」
2022年度の陸上競技部は、自分が持ついるものを他者と与えることでチームに良い影響を与えることや、お互いに与えあうことで二人一人が成長していくことを目指し、このテーマを掲げました。

駅伝

創立80周年の節目に、全国大会出場が決まりました。

サッカー部

いつも温かいご声援をありがとうございます。おかげ様で、県予選ではごさじまがインターハイ・県予選共にベスト4まで進むことができました。私たちの目標である全国大会出場に向けて精進してまいります。私学として

女子バレー部

女子バレーボール部では「心はひとつ」を合言葉に、全国大会で上位進出を目指して活動しています。この橋高校の恵まれた環境でバレーボールに取り組めるのは、これまで多くの方々の支えがあったからです。これからも現状に満足せず、感謝の気持ちを忘れず謙虚にバレーボールへ向き合っています。

一人の競技者として高いレベルを目指しながらも、一人の人間として陸上競技を通して、様々な人との出逢いを大切に、その中で豊かな人間性や社会性を身につけた人を育てることを目標として

来月25日に、「京都・都大路」で開催される「全国高校駅伝大会」では、皆様の想いを糧に込めますので、テレビ・現地でのご声援を宜しくお願い致します。

【結果】
春季市民高校大会
橋A 優勝、橋B 優勝
関東高等学校バレーボール大会神奈川県予選会



優勝
 関東高等学校バレーボール大会 本校〇-2東海大甲府(山梨) 一回戦敗退
 インターハイ
 神奈川県予選会 第3位



男子バレー部

今回の春選手選は3年ぶりの有観客の試合となりました。声援に元気をもらい勇気つけられたこと、感謝の気持ちでいっぱいです！試合は終止リードしている中で最後の最後、点が取り切れず、流れに乗り切れずという苦しい展開でした。どんな場面でも強気に攻め続ける強い心を持ち、

またひとむきに励んでいきます。3年生の悔しさを胸に新チーム頑張ります!!

【結果】

関東高等学校バレーボール大会神奈川県予選会 優勝 本校〇-1慶應
 関東高等学校バレーボール大会(群馬開催) ベスト8
 本校〇-2習志野
 インターハイ
 神奈川県予選会第3位

野 球 部

春地区予選(リーグ戦) 対 城郷 9-2で勝利
 春地区予選(リーグ戦) 対 白山 5-4 勝利
 春地区予選(リーグ戦) 対 中大横浜 14-4 勝利
 春季県大会1回戦 対 武相 6-2 勝利
 春季県大会3回戦 対 藤沢清流 1-4 惜敗
 夏季県大会1回戦 対 横浜平沼 12-0 コールド勝ち
 夏季県大会2回戦 対 橋学苑 3-4 惜敗

ダンス部

秋地区予選(リーグ戦) 対 横浜翠陵 10-1 コールド勝ち
 秋地区予選(リーグ戦) 対 浅野 11-1 コールド勝ち
 秋地区予選(リーグ戦) 対 大師 9-2 コールド勝ち
 秋季県大会1回戦 対 武相 2-12 コールド負け

吹奏楽部

『愛し愛され日々向上』をモットーに、18年連続の県代表としての東関東大会出場をはじめ、地域の子ども達のための音楽活動や、グラウンダーに於ける指揮演奏も行っています。諸先輩方が築

書 道 部

かしてきた伝統を受け継ぎ、総数87名で頑張っています。
 第53回『神奈川県高等学校教育書道コンクール』県公式書写検定委員会賞
 1年 藤本 玲夢 (優秀作也) 奨励賞
 3年 山下 真奈実 特選

美 術 部

第46回『空室書道全国展』硯心会奨励賞
 3年 山下 真奈実
 2年 岩崎 姫依
 1年 石川 珠江 特選
 3年 岩松 瑞季
 2年 野中 歩実 秀作
 2年 橋本 知佳乃

第109回日本水彩画展
 1年・一条安純・福田晴菜・松場柚貴
 2年・内田美佑・江崎桜・南口万知・渡邊結奈
 3年・森陽香

全日制進路実績
(合格者数)

※人数は現役、既卒含む

2021年
 国公立大学 6名
(神奈川県立保健福祉、東京海洋、東京藝術、横浜市立)

難関有名大学(現役合格率)
 早慶上理 9名(30%)
 GMARCH 93名(30・4%)
 成成明学獨國武 63名(54%)
 日東駒専 121名(56・6%)

私立大学合計 658名
 短期大学合計 5名
 専門学校合計 10名
2020年 8名
 国公立大学
(宇都宮、神奈川県立保健福祉、京都工芸繊維、東京都立、横浜国立)

難関有名大学(現役合格率)
 早慶上理 2名(6・1%)
 GMARCH 71名(30・3%)

成成明学獨國武 43名(52・1%)
 日東駒専 82名(55・1%)

私立大学合計 492名

短期大学合計 6名
 専門学校合計 22名

2019年
 国公立大学 4名
(茨城、東京海洋、横浜市立、都留文科)

難関有名大学(現役合格率)
 早慶上理 6名(15・4%)
 GMARCH 44名(14・5%)
 成成明学獨國武 38名(32・2%)
 日東駒専 70名(30・6%)

私立大学合計 413名
 短期大学合計 5名
 専門学校合計 19名

早慶上理 II 早稲田、慶応義塾、上智、東京理科大
 GMARCH II 学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政
 成成明学獨國武 II 成城、成蹊、明治学院、獨協、國學院、武蔵

伝統の定時制

卒業生の進路

令和3年度の卒業生は、33名中、就職16名、進学10名、その他7名でした。令和4年度の卒業生は、31名中、就職13名、進学15名、その他7名でした。令和3年度の卒業生は、26名中、就職12名、進学8名、その他6名でした。

〈主な進学先〉

聖徳大学、埼玉学園大学、横浜国立大学、和光大学、星槎大学、相模女子大学、桜美林大学、鶴岡短期大学、外語リベラル系専門学校、玉成保育専門学校、聖マリアンナ医科大学看護専門学校、相模原調理専門学校、バンタンアカデミー専門学校、聖ヶ丘教育福祉専門学校、尚美ミュージックカレッジ専門学校、日本工学院専門学校、情報科学専門学校、日本電子専門学校、町田フサイチ専門学校、東京マックス美容専門学校、横浜調理師専門学校、東京誠心調理師専門学校、東洋美術専門学校、県立東部総合職業技術校、県立西部総合職業技術校、静岡県立漁業高等学園

文化祭

昨年度は10月28日(木)に前祭、10月30日(土)に文化祭が開催されました。コロナ禍ということ

で、飲食店不可に加え無観客での実施となりました。そこで、昨年度は「ものづくり体験」という新しいスタイルでの実施となりました。校内での交流となりましたが、有意義な文化祭となりました。今年度(10月27日(木)に前祭、10月29日(土)に文化祭)が開催されました。今年も飲食店は不可ではありますが、保護者の参観が可能となりました。内容は今年も「ものづくり体験」となりました。準備の段階から生徒の普段と違った二面が見られ、発見の多いものとなっています。また、毎年、文化祭を実施するにあたり同窓会より補助金をいただいております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

弁論大会

昨年度は6月10日(木)に、今年度は、6月17日(金)に校内弁論大会が実施されました。各クラスから代表の弁士が選出され、それぞれ立派な弁論を披露してくれました。

【結果】

令和3年度
優勝 「自分ごとをいこう」
4年B組 田中 香鈴
準優勝 「課せられた使命」
3年B組 水田 堅
第3位 「自分を見よめつた先には」
4年A組 重野 圭亮
※上位2名は市内弁論大会に出場。水田堅くんは第3位という成績を収めました。
令和4年度
優勝 「平和に生きたい」
4年B組 水田 堅
準優勝 「嘘」
2年A組 藍原 伊吹
第3位 「不登校」
1年B組 藤本 結珠
※上位2名は市内弁論大会に出場。水田堅くんは優勝という成績を収めました。

卓球部

橋卓球部は、高校から卓球を始める生徒が多いながらも大会で好成績を残すために日々の練習に励んでいました。そして遂に、令和3年10月31日に行われた「神奈川県高等学校校定時制通信制秋季卓球大会男子シングルス上級学年の部」で土肥勇貴さんが悲願の優勝を果たし、四年間の有終の美を飾りました。時には、大会が怖くて弱音を吐いてしまったり練習から逃げ出すことすらありました。



しかし、夢を追いかけて弱虫な自分を変えたいという思いからラケットを握って足を動かす練習を続けた。努力の末に、実力は少しずつ着実に身に付きました。



き、最終学年の時には立派な卓球選手として成長を遂げていました。結局、男子生徒は全国大会出場の夢は叶いませんでしたが、日々の練習で培った卓球スキルや切磋琢磨しあった仲間との思い出は彼らの中にかげがえのないものになった事だと思えます。

これからは粘り強く、最後まであきらめない橋定卓球選手たちの応援をよろしくお願いします。

陸上競技部

6月5日(日)、レモンカススタジアム平塚にて、全国定通制陸上競技大会神奈川県予選が行われた。本校からは都丸有吾(4B・100M)、宅島朝陽(1B・100M)の2名が出場した。200Mの2名が出場した。都丸にとっては、高校生活最後の全国予選会、宅島にとっては、高校生活初めての大会となった。大会1週間前からの調整期間では2名とも70%程度の任上がりであったため、当日、どればこのパフォーマンスを見せられるのか、一抹の不安を感じてはいた。

まずは男子100M予選。スタートダッシュを得意とする都丸は、後半70メートルあたりから、左右を見る余裕を見せながらのゴール。続いて、宅島。2・3年生が4人いる組に入ったが、緊張して体が固くなることもなく、終始リラックスして走れ、1着でゴール。記録は1秒台の差で、通過で決勝に進出した決勝では3レーンに宅島、4レーンに都丸と隣同士

のレーンに入った。風は向かい風3メートルの悪条件であった。都丸、宅島共に身体が細身のため、向かい風に吹かれると、かなりの不利となる。だが、予選の記録や走りを見る

と、橋の二人で1・2位を独占する可能性が出てきた。スタートは予想通り、都丸の反応が一番良かった。隣のレーンの宅島も必死に都丸の背中を追っている。1秒間に8人がなげに混戦となったが、都丸が優勝、宅島が3位を確保するという大健闘だった。

200Mは宅島一人がエントリー。予選は上級生が6人いる組に入った。5レーンからのスタートであったが、第四コーナーを回った時点で宅島一人が抜き出ていた。余裕の走りで予選を1位通過した。その2時間半後、決勝が行われた。すでに100Mを2本、200Mを1本走っており、体力は限界に達していた。それを圧倒し、1年生ながら見事優勝した。

今回橋の2名で、100M・200Mの2冠を達成し、本人たちとても誇らしい表情をしていた。ただ、勝負は8月1日、2日、3日と東京の

駒沢オリンピック競技場
で開催される全国大会で
ある。現状に満足せず、
どん欲に更なる上を目指
してほしい。

なお、400Mリレー
の神奈川代表として、都
丸と宅島の2名が選出さ
れたことを付記しておく。

(文責 松原)

全国定通制陸上競技大会
神奈川県予選

男子100M

都丸有吾

予選 11秒90

決勝 11秒97 (優勝)

宅島朝陽

予選 11秒99

決勝 12秒29

男子200M

宅島朝陽

予選 24秒69

決勝 24秒72

バドミントン部

5月28日(土)・6月
4日(土)の2日間にお
たり、全国定時制・通信
制バドミントン大会神奈
川県予選会が行われまし
た。

今年度は1名の選手が
出場しました。

11月5日(土)の川崎市
大会の団体戦、11月19日
(土)の神奈川県の団体
戦に女子団体が出場。
バドミントン部顧問
首藤隆志

写真部

写真部は、二〇一九年
度から部員数が増えまし
た。また、それまでは、
夏の撮影会の前くらいに
しか部活動をしていませ
んでしたが、だいたい週
一回の割合で部活動をす
るようになりました。二〇
一九年度・二〇二二年度
は、鎌倉、江ノ島方面に
行きました。

鎌倉入仏を自学したり、
江の島岩屋の方まで行っ
たりしました。とても暑
かったので、途中でお土
産のTシャツを買って着
替えた部員もいました。
二〇二二年度・二〇二三
年度は、浅草、押上(東
京スカイツリー)方面に
行きました。

浅草寺にお参りし、も
んしゃ焼きを食べました。
また、仲見世通りでは、
食べ歩きもしました。高
所が苦手な部員は、東京

スカイツリーの見学はし
ませんでした。ソフマ
チで「推し」のグッズ
を買って楽しめました。
また、毎年1月に川崎
地下街「アセリア」で行
う川崎市内定時制高等学
校作品展の写真の部に、
希望する部員は出品し、
毎年2〜3点は入賞して
います。

軟式野球部

令和3年の神奈川県定
通制選手権大会で2度目
の優勝を果たし、夏の全
国大会で「3位」という
成績を収めることができ
ました。

喜びと共に、あと二つ
で「日本一」を決める舞
台に立てたというこれま
では感じたことのない
ような悔しさを味わい、
すばらしい経験を積みこ
とができました。秋季県
大会も優勝し、初の春秋
連覇も成し遂げることが
できましたが、4年生が
引退すると、男子4人女
子3人となり、部員7人
で練習を続けながら春の
新入部員を待ちました。
令和4年4月、新入部



員を迎えて1人になると、
大会に出場できる喜びが
チームを二つにし、2年
連続選手権大会優勝、全
国大会出場を果たしまし
た。
全国大会の開幕戦に決
まり、橋定野球部にとっ
て夢であった神宮球場で
初めて戦うことができ、
勝利も収めました。2回
戦では、終盤5点差をつ
けられながらも最後まで
あきらめずに逆転勝利を
収め、今年度も「ベスト
8」まで勝ち上がりまし
た。



しました。そのうち第3
位が3回、準優勝が2回
と輝かしい成績を残し強
豪校と呼ばれるまでにな
りました。しかし「優勝」
まであと一歩及ばず、全
国制覇の夢は後輩達に託
されています。

女子は平成30年に32年
ぶりの全国大会出場を果
たし、令和4年まで4回
連続7回目の出場を続け
ています。

現在部員は3人ですが、
チームのモットーである
「二戦必笑」「完全燃焼」
を大事に、これからも
「野球が楽しい」と思え
る部での続けたいです。

バレーボール部

定時制バレーボール部
は平成25年度に再結成さ
れました。毎日練習を重
ね、土曜日に練習試合を
行い、男子は平成26年度
から令和4年度まで8大
会連続で全国大会に出場

しています。
バレーボール部
顧問 松本博臣
杉山美佳
田中弘行

バスケットボール部

令和4年5月15日、全
国高校定時制通信制バス
ケットボール大会の神奈
川県予選1回戦が行われ
た。横須賀市立横須賀総
合高校を相手に83-77で
勝利することができた。
そして5月22日、2回
戦が行われた。相手は前
回優勝の神奈川県立横浜
明朋高校。橋の選手も、
最後まで声を掛け合い全
力のプレーを見せるが、
結果的に37-71で敗れて
しまった。

しかし、課題であった
ディフェンスは、見違え
るほどよくなった。
選手が自分たちで課題を
見つけ、それを解決する
ために一生懸命練習をし
た成果が出たのだと思う。
チーム練習を始めた当
初は連携もつまづきかす、
なかなかいいプレーがで
きない時期もあったが、
きいた。

次は月の川崎中大会・
1月の神奈川県大会に向
け、基礎から徹底的にレ
ベルアップを図り、雪辱
を果たしたい。



軽音楽部

定時制軽音楽部は、令
和2年度に同好会として
発足し、令和3年度に部
活動に昇格しました。
ほとんどの部員が楽器
経験のない初心者であり
ながら、先輩の指導のも
と練習に取り組みしていま
す。

令和3年度は、校内で
の演奏だけでなく、ライ
ブハウスでの演奏も県の
定通制演奏会にもフットリ
をしました。

令和4年度は、「The a
re SINGER AGES」全国
高校軽音楽部大会」の
予選に出場しました。ま
た、今年度も文化祭や送
別会など校内での演奏も
予定しています。
軽音楽部
顧問 田中弘行

代議員会報告

令和4年6月25日(土)橋高校大会議室において代議員会が開催され令和3年度事業報告並びに決算報告、令和4年度事業計画案並びに予算案等出席者と議決権行使者をあわせ審議し承認された。また同窓会橋基金についても報告がなされた。承認された内容は別記のとおり。

令和3年度 事業報告

- 1、渉外活動
- 入学式への参列
- 入学式
- 4月6日(全定)
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来賓列席の参加自粛で不参加
- 卒業式

- 3月5日(全定)
- PTA総会への出席
- 5月19日
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面にて開催
- 歓迎会は不参加
- 文化祭への参加
- 橋花祭(全主)
- 橋定祭(全定)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため日程、形式を変え開催。同窓会コーナリはなし。

2、会議の開催

- 役員会(2回)
- 4月24日、11月27日活動報告および事業内容報告
- 決算監査は三役、会計監査及び事務局にて持ち回りにて実施
- 代議員会
- 6月26日開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。令和2年度事業報告、収支別添積及収支決算報告、会計監査報告令和3年度事業計画案、収支予算案、役員選任及び報告事項(橋基金)を、書面にて送付。議決権行使の「賛否書」を同封返信の結果、議決。
- 事務局会議(9回)

- 4月24日、5月15日、6月5日、7月3日、10月6日・27日、11月17日、12月15日、3月23日に開催。
- 7、その他
- 学校教育推進会議
- 7月3日、2月12日
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面にて開催
- 公開授業参観
- 11月20日全日制、11月16日・17日定時制開催
- 本会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加自粛

3、広報活動

- ホームページ
- WEBサイト「同窓会ホームページ」随時更新
- 会報19号『たちばな』の発行準備

4、母校支援(賛助・祝い金等)

- 文化祭(橋花祭・橋定祭)への後援
- 部活動への後援
- 全日制運動部ソフトテニス、バレーボール、陸上各部
- 全日制文化部吹奏楽部
- 定時制軟式野球部、陸上、卓球、バレーボール各部
- 「東京オリンピック」バレーボールで高村春世選手、サッカーで三橋薫選手が出場。懸垂幕を母校に寄贈。
- 5、部活動OB・OG会と連携
- 6、活動内容の拡充と事務局員の増員対策

令和4年度事業計画

- 1、渉外活動
- 入学式(4月)への参列
- 卒業式(3月)への参列
- PTA総会(役員送迎会)への参加
- 文化祭(全日制9月、定時制10月)への参加
- 「同窓会コーナリ」による資料等を展示
- 2、会議の開催
- 役員会 4月23日、11月初旬
- 代議員会 6月25日
- 懇親会は中止
- 事務局会議(適宜開催)
- 3、広報活動

- ホームページ
- WEBサイト「同窓会ホームページ」随時更新
- 会報19号『たちばな』発行(11月)
- 4、母校支援(賛助・祝い金等)
- 文化祭(橋花祭・橋定祭)への後援
- 部活動への後援
- その他

5、部活動OB・OG会と連携

- 6、活動内容の拡充と事務局員の増員対策
- 7、その他

令和2年度 代議員会
令和3年(2021年)代議員会開催にむけまして、臨時役員、事務局また学校を交えて協議を続けておりました。

令和3年度 代議員会
令和3年度(2021年)代議員会開催にむけまして、臨時役員、事務局また学校を交えて協議を続けておりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大に関して見通しが立たず、やむをえず前年同様、開催を見送りの、代議員各位に封書にて議案を送付、議決返信をもって決議と役員会にて決定しました。

同年6月5日に資料発送、代議員各位からの議決権行使の結果、第1号議案(事業報告、決算報告等)第2号議案(事業計画案、予算案等)第3号議案(役員改選)各議案は賛成多数により承認されました。

※令和2年度、3年度の代議員会付議事項、承認事項は同窓会ウェブサイトに掲載しております。ご一読ください。



議事を進行する牧野倉(右)と報告する池上副倉(左)

橋高校 同窓会 検索

令和3年度 別途積立金 収支決算報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

川崎市立橋高等学校同窓会

単位:円

項目	収入	支出	備考
繰越金	2,451,994	0	令和2年度より繰越
一般会計繰入・繰出	100,000	100,000	国際科・スポーツ科周年行事費助
預金利息	102	0	
合計	2,552,096	100,000	

収入合計 ¥2,552,096 支出合計 ¥100,000 次年度繰越金 ¥2,452,096

◆別途積立金の内容

- 1. 積立金 1,000,000円
- 2. 周年行事積立金 1,400,000円 (平成17年度より周年行事準備目的で積立)
- 3. 預金利息 52,096円

※繰越内訳

三井住友信託銀行 定期預金 1,000,000円
三井住友信託銀行 普通預金 1,452,096円

令和4年5月19日

上記のとおりご報告申し上げます。

監査の結果相違ないことをご報告いたします。

会長 牧野 重夫
副会長 池上 裕光
会計 西川 敏夫
会計 天沼 寛文

会計監査 寺西 英夫
会計監査 荒井 久雄

令和3年度 収支決算報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

川崎市立橋高等学校同窓会

【収入の部】

単位:円

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
繰越金	2,324,831	2,324,831	0	前年度繰越金
入会金	1,192,000	1,192,000	0	卒業生298名×4,000円
	1,068,000	1,068,000	0	267名
	124,000	124,000	0	31名
年会費	1,000,000	8,000	△ 992,000	年会費・賛助寄付金
代議員会費	0	0	0	
会報広告費	10,000	10,000	0	会報広告料
雑収入	100	215	115	預金利息
合計	4,526,931	3,535,046	△ 991,885	

【支出の部】

単位:円

項目	予算額	決算額	予算残額	備考
事務局費	320,000	146,136	173,864	
事務渉外費	300,000	145,220	154,780	事務費・慶弔費・事務用品
通信交通費	20,000	916	19,084	
会議費	250,000	218,300	31,700	
役員会議費	50,000	1,400	48,600	資料印刷費・資料郵送費
代議員会費	200,000	216,900	△ 16,900	案内諸経費
事業費	2,100,000	538,050	1,561,950	
会報発行費	1,600,000	0	1,600,000	会報発行諸費
母校後援費	500,000	538,050	△ 38,050	植花祭・文化祭賛助・部活賛助
積立金	100,000	100,000	0	
予備費	1,756,931	0	1,756,931	
合計	4,526,931	1,002,486	3,524,445	

収入合計 ¥3,535,046 支出合計 ¥1,002,486 次年度繰越金 ¥2,532,560

※繰越残高内訳 ①横浜銀行 ¥13,542 ②みずほ銀行 ¥57,884
③郵便局 ¥818,049 ④川崎信用金庫 ¥1,691,818
⑤現金 ¥55,267 ①～⑤計 ¥2,636,560

◎繰越残高には、次年度入会金預かり金104,000円を含む。

令和4年5月19日

上記のとおりご報告申し上げます。

監査の結果相違ないことをご報告いたします。

会長 牧野 重夫
副会長 池上 裕光
会計 西川 敏夫
会計 天沼 寛文

会計監査 寺西 英夫
会計監査 荒井 久雄

同窓会橋基金

高校七期・水嶋康雅氏の
浄財により平成二十年
一月一日に創設された
「同窓会橋基金」。令和
3年度の事業報告、会計
報告は次のとおりです。

令和3年度 事業報告

○奨学金給付 2名
全日制0名
定時制2名

繰越金 三、〇八〇、五二〇円
寄付金 二五、〇〇〇円

収入 三、一〇五、五五二円
支出 一〇二、七六〇円
雑費 七、七八四円
次年度繰越金 六八、〇〇〇円

令和3年度 会計報告

※本紙に「橋基金」協
力をお願い(振込用紙)
を同封いたしました。皆
様の協力を願いま
す。

令和2年度 沼寛文
吉田信子、畔田幹雄、天
沼寛文

令和3年度 倉持進司、渡辺正子
(令和4年3月分迄)

令和4年度 収支予算(案)

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

川崎市立橋高等学校同窓会

(単位:円)

【収入の部】

項目	令和3年度予算額	令和4年度予算額	比較増減	備考
繰越金	2,324,831	2,532,560	207,729	前年度繰越金
入会金	1,192,000	1,188,000	△ 4,000	卒業生297名×4,000円
全日制	1,068,000	1,084,000	16,000	271名(前年比4名増)
定時制	124,000	104,000	△ 20,000	26名(前年比5名減)
年会費	1,000,000	1,000,000	0	年会費・賛助寄付金
代議員会費	0	0	0	懇親会参加費・祝儀他
会報広告費	10,000	0	△ 10,000	
雑収入	100	100	0	預金利息
合計	4,526,931	4,720,660	193,729	

【支出の部】

(単位:円)

項目	令和3年度予算額	令和4年度予算額	比較増減	備考
事務局費	320,000	320,000	0	
事務渉外費	300,000	300,000	0	ウェブサイト運営、他
通信交通費	20,000	20,000	0	
会議費	250,000	250,000	0	
役員会議費	50,000	50,000	0	
代議員会費	200,000	200,000	0	
事業費	2,100,000	2,100,000	0	
会報発行費	1,600,000	1,600,000	0	会報19号発行
母校後援費	500,000	500,000	0	文化祭・部活動等賛助
積立金	100,000	100,000	0	周年行事積立
予備費	1,756,931	1,950,660	193,729	
合計	4,526,931	4,720,660	193,729	

令和4年度 別途積立金 収支予算(案)

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

川崎市立橋高等学校同窓会

(単位:円)

項目	収入	支出	備考
前年度繰越金	2,452,096	0	
一般会計繰入・繰出	100,000	0	
預金利息	100	0	
合計	2,552,196	0	

基金協力者御芳名
(敬称略・順不同)

令和元年度 西川洋志夫、松本久子、鈴木正則、牧野重夫、武笠敏治、江添吉男、齋藤富美子、原功、鳥養弘一、相澤光、小野寺節子、田子善敏、蛭田雄一、田中けい子、池上隆二、市川幸一、小林いく子、大関春江、佐藤正幸、市川糸子、杉本正雄、加藤正明、倉持進司、中小路英之、斉藤和子、佐々木明、植松正人、金田美幸、新井良恵、高橋伸行、川崎セツ、柳東春、今井芳枝、大野泰孝、宮崎晴史、高野美沙子、松原重郎、川本邦子、吉田慶吉、大橋敬義、鶴岡睦、新井のり子、天沼寛文、故石上つね子(代理石上旭)

年々会費 賛助助金

会費を納入いただいた会員諸氏に敬意を表しここに芳名を記載いたします (敬称略)

年会費納入会員御芳名	男 吉田慶吉、村木祐次郎、白井真嵩、高校11期・阿部喜裕、溝江光運、長谷川幸夫、引地雅、高橋順子、河村澄江、武内洋子、飯島孝、池上潔、近藤誠、鈴木正則、古志武、古志よし子、関山泰司、高校17期・柏木靖男、佐野耕、榎本義昭、木村美恵子、高校13期・原功、中村徹夫、鳥養弘一、市川幸二、山崎行男、石田那子、鈴木幹雄、土屋美明、多田英公、武田三千代、高校14期・齋藤克也、香山正一、小澤昭弘、山田賢、向山迪子、加藤五朗、早津皓石、小谷野嘉文、高校15期・仁上勝之、妙摩昌司、関洋一、高校16期・栗原二夫、岡村節子、千葉京子、小澤京子、小山清征、宮崎隆史、古川肇、瀧本臣子、高校17期・畔田幹雄、矢野周二、植木峰雄、秋葉謙治、余台正美、高瀬秀尚一、中山喜三郎、牧田国雄、後藤友子、水野弘、斎藤晃、川崎セツ、山内幸子、関口勇一、伊藤友
男 直光、澤野十恵子、川本邦子、高校18期・福地一、石丸明夫、田中けい子、等原房男、佐々木明、池上裕光、柳栗春、田代敏雄、乙訓博道、池田晃指田ちづ子、高校19期・大関春枝、飯田日出男、中谷陽子、瀧口昇、今井芳枝、大橋敏義、杉野幸治、高校20期・本原和道、植松正人、佐藤亨子、林洋子、高校21期・石澤良一、福原勝、小林いく子、松沼晴一、原慶應、和田康子、金田美幸、長嶋建次、比嘉佳光、穴戸均、高校22期・舟橋弘子、清水正美、安谷裕子、小林透、星野春夫、伊藤雄、松本宏弘、高校24期・新井のり子、高校25期・山本順子、吉田一雄、高校27期・菊島清志、渡辺正子、高校28期・青周一、大野泰孝、高校29期・浦野俊一、飯田三佐子、高校30期・林雅敏、荒井久雄、細野晋、高校31期・池上隆二、加藤正明、高校32期・蛭田雄一、青木	

夫美代、藤下良司、高校34期・新井良恵、高校37期・中小路美之、高校41期・佐藤勇男、高校44期・吉田満喜子、高校53期・天沼寛文、高校58期・高野美沙子、高校60期・北川美穂、高校61期・相澤光、高校63期・奥名恵、高校64期・大石優彦、高校66期・井上勇人、高校67期・三浦清、高校70期・高嶺鈴奈、清水琢海、関口はるか、高校71期・山下つなみ。	※今回記載の方以外に、前回以前に複数年分を一括納入されている方が多数おられます。	<p>賛助寄付金・複数年度会費 納入者御芳名</p> <p>特別顧問 五島三津雄様 特別顧問 松本 芳弘様 客員 坪田 四郎様 客員 石井 邦子様 客員 宮津 健一様 客員 稲生 行秀様 西川洋志天様 西川 善敬様 中子 好久様 鶴岡 陸様 山口 幸安様</p>	<p>川口 玉乃様 高校7期 福島 穰様 高校8期 岩切 宏悦様 高校8期 杉野 至寛様 高校8期 野口 敏宏様 高校9期 市瀬 洋子様 高校10期 大竹 貞夫様 高校10期 藤代 尚一様 高校10期 中山喜三郎様 高校10期 牧田 国雄様 高校10期 川崎 セツ様 高校10期 山内 幸子様 高校10期 伊藤 久男様 高校10期 吉田 慶吉様 高校11期 引地 雅様 高校11期 河村 澄洋様 高校11期 鈴木 正則様 高校11期 古志 武様 高校11期 佐野 耕様 高校11期 木村美恵子様 高校11期 榎本 義昭様 高校11期 原 功 様 高校11期 市川 幸一様 高校11期 香山 正一様 高校11期 加藤 五朗様 高校11期 小谷野嘉文様 高校11期 千葉 京子様 高校11期 畔田 幹雄様 高校11期 矢野 周二様 高校11期 佐藤真由美様 高校11期 石田 正雄様 高校11期 田中けい子様 高校11期 柳 東春様 高校11期 大関 春枝様 高校11期 中谷 陽子様 高校11期</p>	<p>植松 正人様 高校20期 林 洋子 様 高校20期 小林いく子様 高校21期 金田 美幸様 高校21期 清水 正美様 高校22期 新井のり子様 高校22期 菊島 清志様 高校22期 渡辺 正子様 高校22期 飯田三佐子様 高校22期 林 雅敏 様 高校22期 加藤 正明様 高校22期 蛭田 雄一様 高校22期 藤下 良司様 高校22期 新井 良恵様 高校22期 中小路美之様 高校22期 相澤 光 様 高校22期 南谷 希恵様 高校22期 三浦 渚 様 高校22期</p>
---	--	--	--	--

会費納入のお願い

本会、橋高校同窓会は、会員の皆様よりお預かりする会費により運営されています。この会費を基に、同窓会の基幹事業である「母校への後援」を行っています。

また、同窓会報「たちばな」を発行できますのも、ひとえに会員諸氏の会費納入のお陰です。重ねて御礼申し上げます。

橋の卒業生も優に2万人を超える大所帯となりました。

さらに、賛助を行う母校の部活動、文化活動等も増え、うれしい悲鳴ではあります。支出も増加している現状です。

何卒ご理解を賜りましてより多くの会員の皆様が会費を納入いただきますようお願い申し上げます。

会費は2年分4千円となります。今回、皆様にはこの会報に郵便局の「払込用紙」を同封させていただきました。

◇

◇

母校後援の礎となる
賛助会費納入を衷心より
お願い申し上げます。

※皆様には、振込手数料等のご負担にご協力いただきありがとうございます。
この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。

川崎市立橋高等学校同窓会事務局

短 信

同窓会役員体制 (令和3年度・4年度)

会長 牧野 重夫 (18期)

副会長 池上 裕光 (18期)

会計 西川 繁夫 (30期)

天沼 寛文 (53期)

会計監査 寺西 英夫 (28期)

事務局 荒井 久雄 (30期)

◎池上 裕光 (18期)

◎天沼 寛文 (53期)

宍戸 均 (21期)

崎川 弥生 (29期)

三崎 純平 (59期)

南端 純 (60期)

国分 基展 (60期)

木村 祐 (65期)

井上 暁 (68期)

◎事務局長、◎事務局次長

特別役員

名誉会長

長谷川 幸夫 (11期)

鈴木 正則 (11期)

飯田 勝美、大熊 昭三

宮本 光太郎、加藤 正夫

上 げ ます。(敬称略)

謹んで御芳名を掲載申し

上げます。(敬称略)

飯田 勝美、大熊 昭三

乙訓博道さん 瑞宝単光章

令和4年、秋の叙勲で乙訓博道さん(高校18期)が「消防功勞」により瑞宝単光章を授章されました。乙訓さんは永年におたり地域の活動には消防団員として活動され、永年、中原消防団分団長をおつとめになられた功績により今回の授章となりました。

また、本会でも同窓会代議員としてお力添えをいただいております。なお、瑞宝単光章は「公的職務の履修度、困難度、責任の程度などを評価し、職務をほたし成績をあげた人」に対して、瑞宝単光章以上を授与されています。

相談役 小川 昌雄 (3期)

江添 健一 (3期)

斎藤 和夫 (7期)

井浦 輝久雄 (9期)

北谷 瑞穂 (13期)

羽田野 善博 (16期)

高橋 留羅 (19期)

吉垣 次男 (34期)

顧問(母校教員)

川淵 佐知子 (全日制)

高橋 肇 (定時制)

恩師哀悼

(「」逝去)

生前の(指導)感謝し、謹んで御芳名を掲載申し上げます。(敬称略)

宮本 光太郎、加藤 正夫

飯田 勝美、大熊 昭三

上 げ ます。(敬称略)

謹んで御芳名を掲載申し

上げます。(敬称略)

飯田 勝美、大熊 昭三

同窓会活動をお手伝いしていただければ幸いです。同窓会活動の支援、同期会への後援協力、会報やホームページの作成、同窓会員の代表者(代議員)との会合、懇親会など各種会議の参加企画をいたします。機会があります。活動に興味のある方また同窓会に対するご意見提案でも結構ですのでメールお手紙などをお寄せください。

卒業生のみならず、同窓会の歴史(あゆみ)を写真、資料等掲示、

「卒業アルバム」の展示では在校生、卒業生とも毎回好評のようです。

②部活動：関東大会及び全国大会出場時御祝い金を贈呈(団体・個人)

③その他、顕著な成績に対して適宜御祝い金を贈呈。*

①文化祭：全日制「橘花祭」、定時制「橘定祭」への助成

●「同窓会コーナー」を開設、在校生や来場者に同窓会の存在をPR。

①2013年 創立70周年記念誌製作費の助成(30・50・60の各周年)

②2021年 国際科・

同窓会活動について

同窓会の目的である、会員相互の親睦、母校の発展、在校生との交流を図るため様々な活動を行っています。

「学校創立周年行事等への賛助」

①2013年 創立70周年記念誌製作費の助成(30・50・60の各周年)

卒業生のみならず

同窓会活動をお手伝いしていただければ幸いです。同窓会活動の支援、同期会への後援協力、会報やホームページの作成、同窓会員の代表者(代議員)との会合、懇親会など各種会議の参加企画をいたします。機会があります。活動に興味のある方また同窓会に対するご意見提案でも結構ですのでメールお手紙などをお寄せください。

同窓会の歴史(あゆみ)を写真、資料等掲示、

「卒業アルバム」の展示では在校生、卒業生とも毎回好評のようです。

②部活動：関東大会及び全国大会出場時御祝い金を贈呈(団体・個人)

③その他、顕著な成績に対して適宜御祝い金を贈呈。*

①文化祭：全日制「橘花祭」、定時制「橘定祭」への助成

●「同窓会コーナー」を開設、在校生や来場者に同窓会の存在をPR。

①2013年 創立70周年記念誌製作費の助成(30・50・60の各周年)

②2021年 国際科・

③その他、顕著な成績に対して適宜御祝い金を贈呈。*

同窓会新顧問 先生紹介



定時制 高橋 肇 先生

昭和35年生まれ。川崎で生まれ、今まずっと川崎で生活されています。日本大学生産工学部数理工学科を卒業後、昭和59年4月に川崎市立西高津中学校から教員生活をスタート。続いて南加瀬中学校にて教鞭をとられました。平成15年からは高津高等学校定時制に

て奉職、川崎総合科高等専門学校定時制で令和元年10月から教頭に就かれました。令和3年4月から再任用として母校定時制に勤務。同窓会顧問をお務めいた

だいています。先生は、あまり趣味と言えませんが「いと謙遜されますが「前置きさされ「大学でコンピュータ関係について学んだことで現在もPC全般に興味関心があります。前からは「air-bis」を育成していました」と語られました。また、自動車の運転や、ボウリング(最近あまりプレイできていないそうです)を楽しまれる一面も。

会報19号 編集委員会

委員長	池上 裕光 (18期)
副委員長	宍戸 均 (21期)
委員	牧野 重夫 (18期)
委員	崎川 弥生 (29期)
委員	天沼 寛文 (53期)
委員	木村 祐 (65期)
委員	川 知子 (顧問)
委員	高 肇 (顧問)



本会が賛助したクリアファイルと記念誌



祝! 東京オリンピック出場!!

バレーボール女子

島村春世さん

(高校62期)

サッカー男子

三笥薫さん

(高校68期)

同窓会から懸垂幕を寄贈しました
三笥薫選手、FIFAワールドカップカタール2022で活躍!
島村春世選手、2022 FIVB 女子世界選手権にて大活躍!

会報に対するご意見、同窓会宛てのご要望、転居・住居表示の変更のご連絡は、
Eメールでご連絡下さいますようお願いいたします。

info@tachibana-hs.net

お電話でのお問い合わせはご遠慮ください

【お手紙・FAXの場合】

〒211-0012 川崎市中原区中丸子562 橋高等学校同窓会事務局宛
ファックス 044-422-7412

会報第19号をお届けしました。コロナ禍の影響で編集会議の開催も思うようにできず発行予定(令和3年9月)より1年ほど遅れましたが無事発行することができホッとしています。

今号は、恩師・同窓生の方々への取材訪問も躊躇してしまい、在校生の活動・活躍や進路を中心に構成しました。お楽しみ頂けましたら幸いです。

母校は創立80周年を迎えました。同窓会ももうじき設立70周年を迎えます。

その頃にはコロナが落ちつき大勢の方が集まれる様になっていたの良いなとか、1日でも早く学校行事や部活動の大会など無条件の有観客で行える様になったの良いなと、後記を書きながら思っています。

編集後記